

カノラータ・オーケストラ ウィンターコンサート こだわり抜いた厳選素材

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン Ludwig van Beethoven

ベートーヴェン
《コリオラン》序曲 Op.62
Beethoven : Overture to "Coriolan" Op.62

ベートーヴェンがローマ神話に登場する悲劇の英雄コリオラヌスの逸話に基づいて書かれた戯曲のために完成させた《コリオラン》序曲。

物語は、ローマ共和制に対する意見の相違から国外に追放され、数年後、隣国の将軍となってローマに攻め入るが、母と妻に諫められて進退に窮し、最後はみずから命を絶ってしまう、という悲劇です。

ベートーヴェンは、この悲劇に触発され序曲を一気に書き上げました。当時、音楽の形式美が優先された時代において、《コリオラン》序曲は厳格な形式の中に物語を雄弁に語る文学性を内包した類を見ない作品でした。音楽と文学が融合した作品は、後に標題音楽としてベルリオーズやリストらへ引き継がれていきます。

権力へ立ち向かうヒーローに憧れたベートーヴェンならではの力強い音楽をお楽しみください。

メンデルスゾーン
交響曲第1番 ハ短調 Op.11
Mendelssohn : Symphony No.1 C minor Op.11

早熟の天才と称されるメンデルスゾーンですが、交響曲第1番は、彼が15歳の時に完成させられました。

銀行家の息子として生を受けたメンデルスゾーンは、幼いころから多くの知識人と交流する機会に恵まれ、見識を深めています。

その中で培われた彼の才能は、《真夏の夜の夢》序曲の創作やバッハの《マタイ受難曲》の蘇演へと結実していくのです。交響曲第1番も過去の作曲家の書法を研究した成果が顕われており、モーツァルトやベートーヴェンの音楽を模倣したようなサウンドが聴こえてきます。一方で、流麗さ、均整の保たれたハーモニー等、メンデルスゾーン「らしさ」を感じさせ、すでに彼が自分の「ことば」で音楽を創出していることに驚かされます。滅多に演奏されない作品です！ぜひ会場で！！

#Symphony No.1 C-minor Op.11

カノラータ・オーケストラ ウィンターコンサート

2017年12月17日(日) 13時30分開場 14時開演

カノラホール 大ホール 全席自由1,000円 小中高生500円 未就学児無料

綴る物語 音楽が #Coriolan



圧倒的熱量を誇る 名曲への挑戦



ベートーヴェン
交響曲第5番 ハ短調 Op.67 《運命》
Beethoven : Symphony No.5 C minor Op.67

コンサートのメインプログラムは、ベートーヴェンの名曲《運命》です。あまりに有名なためライブで聴ける機会がほとんど無いため、ウィンターコンサートは名曲を改めてお楽しみいただける絶好の機会になるのではないのでしょうか。

さらに、コンサートのテーマである「こだわり抜いた厳選素材」を象徴する作品であることも忘れてはなりません。有名な「ダダダ・ダーン」は、「運命のモチーフ」として知られていますが、これは楽曲全体を支配する重要なモチーフです。

第1楽章は、ほとんどこのモチーフだけで音楽が形成されています。葛藤するような激しい曲想は、同時期に作曲されていた《コリオラン》序曲にも通ずる荒々しさがあります。一転して、穏やかな曲調の第2楽章は、変奏形式で書かれています。古典的な変奏形式の中に大胆な転調が盛り込まれた革新的な楽章です。

第3楽章になると音楽は、再び緊迫感に満ちてきます。冒頭チェロとコントラバスが奏でる旋律は「第九」への伏線のようなことがあります。途中、ホルンが「ダダダ・ダーン」のモチーフを力強く吹奏するのもポイントです。

しかし、音楽は徐々に失速し、混沌とした世界へ突入します。そして、何かがあぐめき始め、膨張し、限界に達したところで大爆発を起こし第4楽章へ突入します！

全エネルギーを 終楽章に注ぐ

「ダダダ・ダーン」ばかり話題になる《運命》ですが、作品を締めくくる第4楽章も忘れてはなりません。最終楽章は、第3楽章の混沌とした世界観から一転してまばゆい光を放つ希望に満ちた音楽に様変わりします。管楽器は増員され、力感も量感も増し圧倒的な音圧で迫ってきます。演奏者にとっても最後まで弛緩することが許されない体力勝負の音楽ですが、演奏が終わると会場は熱気と昂揚感で包まれます。それでは、カノラータが演奏するベートーヴェンの圧倒的熱量を誇る名曲の演奏にご期待ください。

#Symphony No.5 C-minor Op.67

団員募集中…練習見学もお気軽にどうぞ
[練習日時] 毎週水曜日19時30分～21時30分
*ときどき土曜練習を行います。
[練習場所] カノラホール大ホール、練習室、
ほか岡谷市内各施設

■主催・お問合せ
カノラータ・オーケストラ(事務局:カノラホール内)
カノラホール(公益財団法人おかや文化振興事業団)
長野県岡谷市幸町8番1号
電話:0266-24-1300 HP:http://canorata.net

カノラータ・オーケストラ

2002年に設立された、岡谷市を中心に活動するアマチュアオーケストラ。オーケストラ名は、カノラホールの“カノラ”と、イタリア語で「仲間」を意味する“カメラータ”を合わせ「カノラータ・オーケストラ」とした。主な活動は、毎年夏の定期演奏会やウインターコンサートを開催し日頃の練習成果を発表している。また、岡谷市教育委員会主催の「ホリディスクエアコンサート」、岡谷市民音楽祭、諏訪湖ハイツ（岡谷市）における「あじさいコンサート」等に出演し、地域に根付いた活動を積極的に展開している。団員は、岡谷市をはじめ、諏訪・松本・伊那などから集まり、日々練習に励んでいる。

コンサートをお楽しみいただくために

カノラータ オーケストラ

ウインターコンサート 12/17 sun 14:00

Canorata Orchestra Winter Concert 2017

#こだわり抜いた厳選素材

#クラシックっておもしろい

ベートーヴェン
《コリオラン》序曲 Op.62
Beethoven : Overture to "Coriolan" Op.62

メンデルスゾーン
交響曲第1番 ハ短調 Op.11
Mendelssohn : Symphony No.1 C minor Op.11

ベートーヴェン
交響曲第5番 ハ短調 Op.67 《運命》
Beethoven : Symphony No.5 C minor Op.67